

1. 単語のリズムパターンを考える

【拍について】

・ta (短音節) 1拍: あ、か、きゃ・・

・tan (長音節) 2拍: あっ、あー、あん
: あい→ 短音節 + 特殊拍 (special mora)→ 二重母音 (diphthong)(例) ビ ル : ta taビー ル : tan taき のう : ta tan

2. 単語をパターン別に分ける → 3. リズムパターンごとに発音する

ワーク①: の単語をパターンに分けて、下の表に書きましょう。

かぜ にほん いっぱい おれい ちょっと ニュース ほぞん ようし おじさん
 ゴミ パンダ ロンドン かいがん コイン さいご あんこ ゲーム あさ

ワーク②: 自分が練習したい単語も下の表に書きましょう。

ta ta	tan ta	ta tan	tan tan
ビ ル と り ち ず	ビー ル と お り チー ズ	き のう りょ こう と けい	コー ヒー サッ カー せん えん

【発音練習の時のポイント】

① 単語と単語をくぎらないで発音し、リズムのパターンをイメージしよう。

→ 同じリズムの単語をグルーピングして発音すると、それぞれの違いが意識しやすくなるため。

② 発音できたら、単語の後に助詞 (+は・が・を・に etc) をつけて練習する。

→ 実際の会話で助詞がついた時、リズムが崩れてしまわないようにするため。

○「ビールが」 ×「ビールーが」

ワーク③:いろいろなパターンの単語を考えてみましょう、発音してみましょう。

・tan tan ta 例) カンニング

・ta tan ta 例) イベント

・ta tan tan ta 例) ほぞんようき

考案者: 木下万暢